

# 2017年7月21日 第3208回例会

於： 魚藍亭

- <点鐘・開会> 18:30 小林 会長  
<斉 唱> 「それこそロータリー」  
<ゲスト紹介> \*郷土史家 山本 詔一様  
\*有限会社浜田分店 代表取締役 濱田 恵里様
- <会長報告> \*第1回理事役員会 報告  
\*九州被害地義援金のご協力について (集計)  
\*2017-18年度国際ロータリー第2780地区 地区大会参加のお願いについて  
9月18日(月/祝) 12:30点鐘 於：相模女子大学グリーンホール  
\*ガバナー事務所より

- ・クラブ幹事・クラブ事務局対象「IT研修会」のご案内について  
8月10日(木) 14:00~16:00 於：第一相澤ビル6階「会議室」
- <委員長報告> \*R財団委員会 長尾委員長より財団セミナー 報告  
\*地区財団補助金管理委員会 瀬戸委員より補助金管理セミナー 報告  
\*米山奨学生前川カウンセラーより米山学友会主催クリーンキャンペーン 報告

- <出席報告> \*出席委員会植田委員長より7月21日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
110名	94名	63名	31名	5名	72,34%

## <ニコニコ報告>

- ・三 役 郷土史家 山本詔一様、ようこそお越しく下さいました。本日の卓話よろしく  
お願いします。
- ・植田、若麻績、鈴木、江 沢、新倉、山 田、瀬 戸、萩生田、  
秋 本、井 莉、澤 田、鈴木、宮 島、野 坂、飯 塚、上 林 各会員  
山本詔一様、「横須賀愛」の卓話楽しみにしています。
- ・外 崎 会員 誕生月祝いとして
- ・三 役 魚藍亭さんでの食事、本日が最後となります。今まで本当に有難うございました。
- ・植田、若麻績、門 井、勝 間、北 村、鈴木、信 木、新倉、藤 原、薦 野、佐久間、  
福 西、井 莉、萩生田、小 沢、波 島、岩 瀬、渡辺、兼 城、八 木、八 巻、長 尾、  
澤 田、徳 永、齋藤、前 川、宮 島、猿 丸、飯 塚、物 井、前 田、渡 邊、原 田、  
小林(-) 各会員 魚藍亭様、スタッフの皆様32年間お疲れ様でした。例会にはいつもおいしい  
お食事をありがとうございました。決して「魚藍亭」の名前忘れません。
- ・井 会員 久しぶりに出席させていただきます。
- ・勝 見、江 沢、石 田、新倉、波 島、岩 瀬、渡辺 各会員  
三浦学苑硬式野球部12年ぶりBEST8おめでとうございます。
- ・岡 田、八 木、齋藤、前 川、齋藤 各会員 昨日、映画「スカブロ」7週間の横須賀先行  
公開を大好評のうち終了致しました。今後のスカブロの旅にご注目お願いします。
- ・松 村、加藤 両会員 白鵬、本日勝ち星数1048となり歴代単独1位となりました。おめでとう  
ございます。
- ・三 役 夜間例会なのにお酒が無くて申し訳ございません。次回夜間例会にはご用意できるよう  
いたします。

## <卓 話> 「横須賀の近代史」

郷土史家 山本 詔一様

こんばんは。ご紹介をいただきました山本です。本業は本屋さんと思っておりますが、どうも最近では本屋さんには力が入っていないと言われておりまして、まあどちらでも良いんですが、今日は卓話をということなので、お話しをさせていただきます。今日の神奈川新聞に上地新横須賀市長が副市長さん2名を選出したという記事が載っていましたが、その中で自分も副市長ふたりも退職金をもらわないという、実は明治22年に市長村制度という制度ができました時、市長・町長・村長そして各議員たちも実は一銭ももらっていませんでした。こういう職を名誉職と言うんです。名誉職というのは公務にありながら一銭もお金をもらわない職に就いている人たちを言います。その反対を何と言うか、お金をもらっているのだから有給職と言います。明治22年横須賀に町長が二人、現在の横須賀市ではありませんので横須賀町と浦賀町に町長が二人、それから8人の村長が明治22年(1889年)4月に誕生したんです。ところが、三浦半島は明治維新というところから急に人数が増えてきて村が大きくなっている所なので、皆無給でもってその仕事をしていたら、とてもじゃないがその仕事に専念できるバックボーン、要するにお金が無かったのです。ですからどの人達も皆、給料欲しいと手を挙げました。全部でもって2人の町長、8人の村長で10人いましたが、この内の5人は有給職でした。ですから現在のあり方と全く同じような形でもってなってきたんです。それを退職金だけと言いながらも、やや名誉職にしてきたな、というのは新しい市長さんは何かをやるつもりなのかな?と思ひましてそんな話をしました。

この明治22年という年、実は横須賀にとりましては今のように市町村制度ができて、これまで江戸時代のままでもって64の村があったんですけれども、それが10になった、ですから6分の1になってしまった、6分の1以下ですね、でもこういう形でもって新しい制度ができてきて、浦郷村、横須賀町、浦賀町、衣笠村、長井村、西浦村、北下浦村、久里浜村ができてきたのがこの時代なのですけども、もう一つこの明治22年に横須賀にとって大きな出来事がありました。それは横須賀線が開通いたしました。横須賀線開は実は明治22年6月16日に開通をしているんです。全国の鉄道、いま鉄道ブームでたくさんの鉄道の本が売れています、「鉄ちゃん」なんて言われておりますけれども、全国の鉄道の中でもって地名がついて最初にできたのは横須賀線なんです。これ意外と横須賀の人たちは知らなくて、それまでは、東海道線、東北線とか山陽線など、エリアの名前でしかなかったのが、横須賀というネーミングをつけてできたのがここが最初なんです。実は3年前に遡りまして明治19年6月に海軍大臣の西郷従道と、陸軍大臣の大山巖、実は大山巖はこのときに新しい奥さんを貰っていました。山川捨松という、アメリカへ津田梅子さん達と4人、本当は6人で行ったんですけれども、二人先に帰ってしまい4人になってしまった。津田梅子さんなんかと行ってたこの山川捨松さんが帰って来たとき、この大山巖さんは奥さんを亡くして寂しい思いをしていたら素晴らしい女性に出会って結婚した。山川捨松って実は会津藩士の娘で、大山巖は薩摩です。薩摩と会津の結婚は認められなかったんですが、あらゆる手を使って山川捨松を口説き落としました。山川捨松はそこでもって大山巖の奥さんになりましたけれども、大山巖には先妻の子供がいます、その子供が三島通庸という人の息子のところに嫁に行ったんですけれども、結核になってしまった。結核になったので離婚させられてしまっただけで結核療養をしないといけないということで、この横須賀で結核療養をしていたのです。ですから大山巖にとっては自分の娘の結核の療養地である横須賀というところで、何としても鉄道を引きたかった。もちろん陸軍大臣として重要な職務をしておりますから、陸軍大臣、これ横須賀は海軍の街といわれますが、実は陸軍の街でもあるんです。日本で最初に近代的な砲台が出来たのは観音崎で明治14年に出来ています。それから20年代、30年代にかけましてこの横須賀軍港を守るため陸軍はたくさんの力を使っていますが、陸軍の力があつたからこそ横須賀軍港の平和が保たれていたといってもよろしいと思います。この二人が初代内閣総理大臣の伊藤博文に閣議を開けと言ったんです。なんのための閣議かという横須賀軍港へ鉄道路線を引いてもらうための閣議を開いてくれということでした。鉄道局というのはこの時東海道線を新橋から神戸までを一番最初にやって、これが終わってからいろんな所へ手をつけていこうと考えていたのですがそれをなんとかしてくれという頼みでありました。明治22年6月には横須賀線が引けているんです、このスピード、まだ機械化されていない中にこれだけのスピードでもってやった。このときはまだ鉄道局長官が横須賀線は無理と言っていたのを押し切って横須賀へ鉄道を引きました。鉄道を引いたら駄目と反対した人がいて、これが伊藤博文と大熊重信なんです。何で駄目かと言うと、これは日本の金ではできなくて、外国から金を借りないと採算が合わない、あんなものに乗る奴はいないと言ったんです。ところがこの横須賀の人たちは、蒸気機関車の魅力に取り憑かれていました。何でかというペリーが来航した際に蒸気機関車の模型を持ってきて走らせたんです。そこに侍が乗せてもらって走り出したらびっくりしたんで

す。これは凄いという事を知っていたんで、この三浦半島、横須賀の人たちの力を借りて動かししました。明治21年1月に45万円のお金がつきまして東海道線の戸塚と藤沢の間に駅を一つ作りました。これが大船駅で、これが横須賀軍港まで、最初の駅は大船、鎌倉、横須賀だけだったんです。その後逗子の村がなんとしても駅を作って欲しいということでした。逗子は明治22年の時には田越村と言ったんです。本当は大船、鎌倉、田越、逗子だったんです。なんか湘南らしくないですね、何で逗子になったかといいますと、逗子村という小さな村、今の駅がある場所辺りが逗子村なんです、そこを逗子駅にしようといった人は、小坪から出てきた田越村村長のタカハシナオミツという人だったんです。この人がなんとしてでも逗子村に「逗子駅」でないと駄目だ、田越村では駄目だと言ったんです。これで逗子駅という名前が生まれてきたんです。こういうものがあって、鎌倉は最初から鎌倉幕府があったのでどうしても作らなければいけないとなっていました。そこから横須賀まで飛ばして線路を作ってしまうと考えていたのが、こんな形で出来上がりました。この鉄道大変苦労しました、16キロしかないところに8つトンネルがあるんです。こんなにトンネルがあるところは無いです。この時代には大変な工事であったわけです。この8つ横須賀の方から行きますと、吉倉、田ノ浦、長浦、七釜、田浦、沼間、名越、扇ヶ谷いうこの8つのトンネル、逗子から行きますと逗子から先は名越トンネルと扇ヶ谷トンネルとこの2つしか無いんですが、こちら側に6つあるんです、横須賀と田浦の間に4つもあるんです、こんなにたくさんのトンネルを掘らなくてはならないのに、これだけの期間で工事を終わらせたのです。1年半でこれだけの工事をやるということは何だけの人が工事に携わったのかということを考えてみると良く解ります。45万円という金額がどれくらいなのか、開通した時に既に一等車がありました。横須賀線は海軍・陸軍の偉い人が乗りますから、一等車、二等車、三等車と分かれています。一等車は横須賀から大船までで30銭、もりそばが1枚1銭のころです、すごい金額です。一番下でも10銭です。ですから大変な金額で開通することになったんです。この横須賀駅ですが特徴というところ皆さん階段の無い駅と言います。でも実は、この横須賀駅1番線が無いんです。2番線と3番線で主に使っているのは3番線だけ、1番線はどこにあったの？鉄道のことというのは必ず海の方から1番線2番線3番線と付けていくんです。違う所が一箇所だけあるんです。東京駅だけが皇居の方から1番線2番線と付けているんです。ですから皇居から1番近い中央線が1番線で、東海道新幹線は1番外れなので19番20番線となるんですね。でも隣の駅に行きますと、1番線はまた海の方へ戻ってしまう、皆さん何の不思議もなく乗っていますから、これは鉄道マニアの楽しみもあります。なんで1番線がないかという1番線は皇族が降りる専門の駅だったんです。原宿と代々木の間の皇族専用の駅のように、横須賀駅の1番線も皇族用の駅だったんです。この1番線ができる前に明治天皇が来てしまいました。明治天皇は16歳まで京都にいて300年振りに海を見た天皇であったわけです。それまでの天皇は全て京都で幽閉されてきたわけですので、海を見た時に「これは何だ？何処まで続くのか？」などと質問をしたようです。明治天皇は船が嫌いであったようですが、横須賀で軍の船の進水式がある時には通達が来るので陛下は来ることになるのです。明治4年～45年までの間に18回もお出ましになっていますので皇族専用の駅があってもおかしくないのです。この開通する前に明治天皇が降りたというのは、しかも開通する3ヶ月も前に「横須賀線というのはレールがひけたか？トンネルというの掘ったのか？」と聞かれたそうです。ならば汽車に乗り横須賀へ伺う、となったのですが、ホームが出来ていない事を伝えた所、「そんなものはいい、はしごでもつけてくれればそれでいい、船で行くよりは汽車で行きたい。」となったようです。横須賀線と名前が付いたこと、1番線が無いこと、天皇家が開業前に訪れたこと、など横須賀駅は非常に面白い駅なんです。開業した6月には1日4往復していたんですが、何と翌月には6往復に増えているんです。1年立ちましたら45分かかっていた横須賀～大船間を35分に短縮したんです。これは物凄いスピードアップなんです。横須賀線がスピードアップしたというのは他の所には無い、こういうことから横須賀という所がいかにか重要であるかということがわかります。3年後には東京まで新橋まで直通で走る線が出来ましたし、毎年のようにそれが増えていきました。5年後には3往復が新橋までの直通便、全部で10往復の汽車を横須賀～大船、新橋まで走らせていた事がわかっております。横須賀線はこの当時非常に重要な役割を持っていましたが、現在の横須賀線はどうでしょう？逗子駅での連結でかなり長いこと待たされます、東海道線から枝分かれした本線でない中にありながらも非常に重要な役割を担っていたんです。1889年が開通の年となりましてあと2年立ちますと130年目を迎えます。来年は明治維新から150周年これも大事なことです、横須賀の人にとっては横須賀線のこと非常に大事なことになりまして、来年米海軍の所で明治政府に移ってからの150周年をお祝いするんです。旧幕府から新明治政府に移行する期間は何日でしょうか？わずか1日だったんです。これは

1日で良かったのです。横浜にオリエンタルバンクというイギリスの銀行がありました。貸出し先はフランス政府だったのです。フランス政府はこの金を何処につき込んでいたかという、横須賀です。わずか1日で移行したから良かったものの、これにひと月かかるようだったら、ひょっとするとフランス政府にここはフランスの領土だから日本の一般人は立ち入り禁止、日本人が入る時はパスポートを持って来いと言ったかもしれない。香港と同じ状況になっていたかもしれないのです。わずか1日だったので出来なかったのです。その後ろにイギリスが待っていて、その時フランスは必死になってイギリスにお金を返そうとしていたんです。その場合は横須賀だけ治外法権の全く違う土地が出来ていたかもしれないんです。そういうこともあってこの横須賀線が出来たんです。ただちょっと困ったことがありました。当時横須賀は現在の汐入エリアを横須賀と呼んでいました。横須賀の街のどこに横須賀駅を作るかとなってしまいました。横須賀に住んでいる人は当然現在の汐入駅の前辺りに駅を作り、観音崎方面まで線路を引いて欲しいという計画もありました。横須賀駅を作る所をセントラルスペースとしたいという動きがありました。しかし出来たところは逸見です。現在の横須賀駅も住所は逸見なんです。これから先、線路を伸ばす計画もあるし、とりあえず借りの駅を作る、となって逸見になったんです。当時の新聞でも「逸見なんか作って横須賀駅とは何事だ！」と書かれたようです。今はそんな事言えないですね。北久里浜なんて池田町ですから、北久里浜なんて誰も言って無かったです。段々横須賀だって危なくなってきた南葉山なんて言ったほうが土地が売れやすくなっているんです。横須賀でない所に作ったのに横須賀駅というのも大変珍しい例です。ここには何があったかというと海軍さんの演習場があって、そこであれば海軍も目をつぶって仮駅を作っているよと言った所が現在の横須賀駅なんです。ここに正式な駅舎ができるのには、地域住民の理解を得るのに時間が掛かり、何と20数年もかかってようやく駅舎が完成するんです。現在の横須賀駅は昭和15年の建物なんですけれども、大正3年に建てられたものと一緒です。何で大正3年に新横須賀駅を作ったかという、実は大正3年に東京駅が出来ました。東京駅が出来まして、全部の列車ではありませんでしたけれども、直通便が多くなったんです。横須賀で乗ったら東京まで行くという直通便が多くなりました。当然、進水式がある、何があるといった場合皇族の方も横須賀線を使っているようになってきたのです。もう一つ横須賀線の歴史の中で非常に重要なことがあるのです。実は昭和の太平洋戦争になりましてから海軍が拡大してきまして、久里浜エリアにたくさんの倉庫や学校を作りました。それに海軍で働く人が物凄く増えました。この人達が平作にたくさん住宅を作りました。その人たちを運ぶのにどうしても横須賀線を通さなければいけない、ところが平らな所は全て住宅地になっていました。ではどうしたかという、横須賀駅を出ましてから約7キロのトンネルがあるんですけれども、あのトンネルVの字に折れています。普通トンネルは山型に掘るんです。でないと山からの水が流れませんから、トンネルの中を登って行って、真ん中で下りになるのが一般なんです。横須賀衣笠間だけはVの字になってるんです。坂本に住んでいる方は横須賀線が下を通ると「ゴー」といった音で分かるよとおっしゃっていました。こうやってできたトンネルのおかげで海底トンネルが掘れるようになったんです。海底トンネルのきっかけは横須賀、衣笠間のトンネルだったのです。横須賀線の歴史は大変な重要な歴史です。ぜひ横須賀線の歴史を覚えておいていただければと思います。私のお話はここまでです。ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 19:30 小林 会長

週報担当 信木 啓 輔